令和７(2025)年度発行　**臨時号**

人 権 教 育 だ よ り

栃木県教育委員会事務局教育政策課人権教育室

『人権教育の授業の実践』の御紹介

栃木県教育委員会では、すべての学校すべての地域において計画的に人権教育が推進されるよう、人権教育の研究指定や人権教育指導者専門研修等を通じて、人権教育に関する指導方法の改善・充実を図っています。今回は、これまでの研究校や指導者専門研修終了者が在籍する各地区の中核的な人権教育推進校における今年度の先進的な取組について御紹介いたします。

特に、県教育委員会が作成し、活用を推奨しているデジタル教材「人権の窓」を積極的に活用した実践が多数ありますので、教材のテーマである「部落差別（同和問題）」、「男女共同参画」や「外国人との共生」に関連した授業において参考にしてください。

実践例

教科：社会科

テーマ：部落差別（同和問題）

※５回に渡って部落差別（同和問題）に関する内容を取り上げる。

	単元名	取り上げる内容
①	今に伝わる室町文化 （庭造りや芸能）	庭造りや能楽では、身分のうえで差別された人々が活躍した。
②	江戸幕府と政治の安定 （江戸の身分制）	江戸の身分制により、百姓や町人とは別に厳しく差別されてきた身分の人々がいた。
③	町人の文化と新しい学問 （蘭学）	**★小山市立小山城北小学校の指導事例参照**
④	町人の文化と新しい学問 （渋染一揆）	岡山藩で出された倹約令において、差別されてきた人々には、百姓や町人よりもさらに厳しい命令が出された。
⑤	世界に歩み出した日本 （全国水平社）	全国水平社が創立され、差別をなくす運動に多くの人が立ち上がった。

学校が人権教育全体計画において定めた「育てたい資質・能力」（５つの項目）のうち、何を育成するかを授業者がしっかりもつことが大切です。

そして、このような内容を本来の授業の一部として取り上げ、「直接的指導」を実践することで、差別解消を図る資質・能力の育成につながります。

実践例　小山市立小山城北小学校

教科・科目等　社会科（６学年　25 名）

本時の目標

杉田玄白、伊能忠敬らの活躍を手掛かりに、蘭学が社会に与えた影響について理解することができる。

育てたい資質・能力等

差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことについて、理解することができる。（知性）

教材　教科書

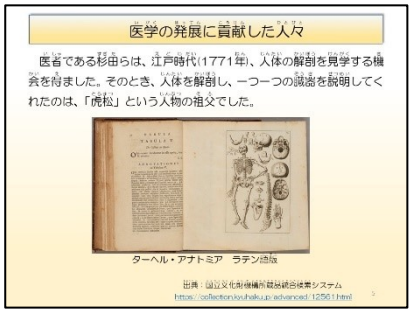
人権の窓（部落差別《同和問題》医学の発展に貢献した人々）を活用した提示資料

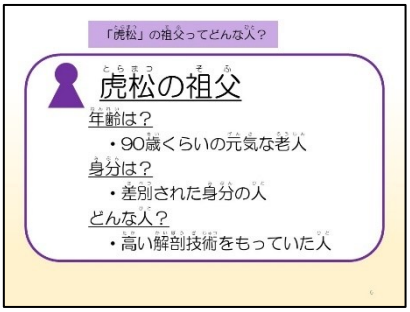
展開

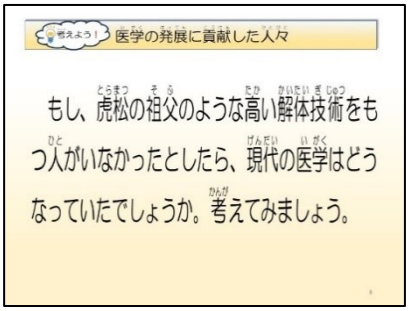
●中国から伝わった解剖図と「解体新書」の解剖図を見比べる。

●「解体新書」の解剖図がいかに正確なものだったかを理解し、蘭学を学ぶことで社会にどのような影響を与えたのかを意識する。

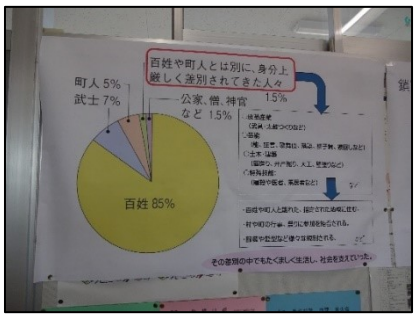
●解剖をして内臓を説明した人は、身分制のもとで厳しく差別されていた人だったことを伝え、高い技術をもつ人がいなかった場合現代の医学はどうなっていたかを考える。







●差別されてきた人々が優れた解剖の技術や知識を生かして、医学の発展を支えていたことを理解する。



教室掲示

学習の様子

板書

●伊能忠敬が作った日本地図と当時使われていた地図を見比べ、地図を作るための道具や伊能忠敬の功績について知る。

●学習の振り返りをする。